

2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 アビックス株式会社
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣田 武仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 桐原 威憲 TEL 045-670-7720
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	1,210	48.5	22		15		15	
2020年3月期	815	18.9	121		130		202	

(注) 包括利益 2021年3月期 13百万円 (%) 2020年3月期 206百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	0.61	0.60	3.6	1.1	1.9
2020年3月期	8.21		43.3	9.4	15.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	1,575	460	29.1	18.11
2020年3月期	1,353	381	27.8	15.24

(参考) 自己資本 2021年3月期 457百万円 2020年3月期 376百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	47	20	14	907
2020年3月期	88	31	168	960

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,350	11.5	37	64.5	30	90.9	28	84.6	1.11

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	25,293,500 株	2020年3月期	24,724,500 株
期末自己株式数	2021年3月期	株	2020年3月期	株
期中平均株式数	2021年3月期	24,992,407 株	2020年3月期	24,705,959 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	1,128	49.5	35		28		26	
2020年3月期	755	21.4	103		111		186	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	1.05	1.04
2020年3月期	7.55	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	1,637		529		32.3		20.90	
2020年3月期	1,403		437		31.1		17.65	

(参考) 自己資本 2021年3月期 528百万円 2020年3月期 436百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることを御承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外の経済が大きく影響を受け、景気及び先行きは非常に厳しい状況が続いております。

また、広告業界における総広告費についても、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、9年ぶりのマイナス成長となり、前年比88.8%となりました。媒体別では、社会生活におけるデジタルトランスフォーメーションが一気に加速したことにより、インターネット広告費は前年より増加となりましたが、マスコミ四媒体広告費、屋外広告費については、前年より減少となりました。

このような環境の下、当社は安定的な収益が確保できる体制を強化するため、デジタルサイネージ関連事業においては、AIカメラを活用した、IoT×サイネージサービスなど、今後の安定的収益の増加につながる新サービスのリリースや、代理店やWebを通じた新たなデジタルサイネージマーケットの開拓を中心に展開してまいりました。また、デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業においても、積極的に拡大展開を図ってまいりました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高1,210,689千円（前年同期比48.5%増）、営業利益22,491千円（前年同期は121,891千円の営業損失）、経常利益15,718千円（同130,067千円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益15,167千円（同202,899千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。また、当連結会計年度におけるセグメントごとの業績は以下のとおりです。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門では主にデジタルサイネージのリース、運営部門ではデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門ではデジタルサイネージの製造・販売を行っております。

機器リース、運営部門につきましては、長期契約による収益安定事業であることから、今後も安定的な収益が見込めております。

情報機器部門につきましては、上述したとおり、代理店との連携やWeb施策を実施しており、新たなマーケットからのお問い合わせや案件数は増加しております。また、注力しているスポーツマーケットでも大型案件を受注するなど、実績を積み重ねることができました。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は売上高1,124,754千円（前年同期比49.3%増）、セグメント利益35,161千円（前年同期は103,015千円のセグメント損失）となりました。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業につきましては、地域創生を軸とし、SNSと大型LED表示機を連動したWeb-リアルを横断するクロスメディアの運営を行っております。将来的に当社グループの基幹事業とするべく人員の増強、今後の拡大を見据えた仕組化等に取り組んだことによる費用増加もあり、当連結会計年度においては黒字化には至りませんでした。当第4四半期においては、単月の黒字化を達成することができました。なお、当事業は収益安定事業であることから、今後は連結業績に寄与する見込みです。

以上の結果、Value creating事業は、売上高85,935千円（前年同期比39.2%増）、セグメント損失12,670千円（前年同期は18,876千円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は1,575,262千円となり、前連結会計年度末に比べ221,593千円増加しました。

流動資産は、1,427,313千円となり、前連結会計年度末に比べ209,922千円増加しました。主な要因は、売掛金が増加したことによるものです。

固定資産は、147,948千円となり、前連結会計年度末に比べ11,670千円増加しました。主な要因は、工具、器具及び備品が増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,114,717千円となり、前連結会計年度末に比べ142,768千円増加しました。

流動負債は、577,088千円となり、前連結会計年度末に比べ214,963千円増加しました。主な要因は買掛金が増加したことによるものであります。

また、固定負債は、537,629千円となり、前連結会計年度末に比べ72,194千円減少しました。主な要因は、長期借入金が減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は460,544千円となり、前連結会計年度末に比べ78,825千円増加しました。主な要因は、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金および現金同等物は、前連結会計年度末に比べ53,643千円減の907,349千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の増加163,832千円や減価償却費33,498千円の計上あったものの、売上債権の増加160,596千円やたな卸資産の増加110,386千円等により、47,664千円の支出（前年同期は88,366千円の支出）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出17,418千円等により、20,961千円の支出（前年同期は31,518千円の支出）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出292,331千円等があったものの、長期借入による収入260,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入により、14,982千円の収入（前年同期は168,486千円の収入）となりました。

(4) 今後の見通し

当社グループは、2020年3月期より取り組んでいる主力業界の変更を継続して推進し、大型LED表示機の販売、Value creating事業を中心とした収益安定事業の強化を図ってまいります。

これらにより、次期連結会計年度（2022年3月期）は連結売上高1,350百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益37百万円（同64.5%増）、経常利益30百万円（同90.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益28百万円（同84.6%増）を計画しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）適用時期等につきまして、諸情勢を考慮しながら適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	960,993	907,349
受取手形及び売掛金	158,077	318,673
商品及び製品	62,626	134,012
仕掛品	5,398	31,997
原材料	11,891	24,292
その他	18,516	11,214
貸倒引当金	△112	△227
流動資産合計	1,217,390	1,427,313
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	1,229	1,229
減価償却累計額	△856	△911
建物附属設備(純額)	372	317
車両運搬具	2,550	2,550
減価償却累計額	△141	△943
車両運搬具(純額)	2,409	1,606
工具、器具及び備品	301,952	317,461
減価償却累計額	△285,890	△294,913
工具、器具及び備品(純額)	16,061	22,548
レンタル資産	196,470	198,379
減価償却累計額	△184,235	△189,993
レンタル資産(純額)	12,234	8,385
リース資産	90,438	99,073
減価償却累計額	△39,250	△43,693
リース資産(純額)	51,188	55,380
有形固定資産合計	82,266	88,238
無形固定資産		
投資その他の資産	4,080	4,006
投資有価証券	7,638	8,971
その他	42,294	46,731
投資その他の資産合計	49,932	55,703
固定資産合計	136,278	147,948
資産合計	1,353,669	1,575,262

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,389	194,221
1年内返済予定の長期借入金	256,996	296,536
リース債務	16,226	19,546
未払法人税等	3,108	3,642
その他	55,405	63,142
流動負債合計	362,125	577,088
固定負債		
長期借入金	562,753	490,882
リース債務	43,992	44,636
繰延税金負債	239	247
その他	2,838	1,863
固定負債合計	609,824	537,629
負債合計	971,949	1,114,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	574,562	607,564
資本剰余金	91,824	124,826
利益剰余金	△290,179	△275,012
株主資本合計	376,206	457,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	551	569
その他の包括利益累計額合計	551	569
新株予約権	1,641	1,072
非支配株主持分	3,320	1,524
純資産合計	381,719	460,544
負債純資産合計	1,353,669	1,575,262

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	815,203	1,210,689
売上原価	420,584	688,095
売上総利益	394,618	522,593
販売費及び一般管理費	516,510	500,102
営業利益又は営業損失(△)	△121,891	22,491
営業外収益		
受取利息	18	10
受取配当金	122	132
助成金収入	-	2,000
保険解約返戻金	980	-
その他	78	364
営業外収益合計	1,198	2,507
営業外費用		
支払利息	9,251	9,276
その他	123	2
営業外費用合計	9,374	9,279
経常利益又は経常損失(△)	△130,067	15,718
特別損失		
減損損失	48,006	951
投資有価証券評価損	4,999	-
ゴルフ会員権評価損	-	899
たな卸資産評価損	21,992	-
特別損失合計	74,999	1,851
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△205,066	13,867
法人税、住民税及び事業税	496	496
法人税等合計	496	496
当期純利益又は当期純損失(△)	△205,562	13,371
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△2,663	△1,795
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△202,899	15,167

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△205,562	13,371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△945	18
その他の包括利益合計	△945	18
包括利益	△206,507	13,390
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△203,844	15,185
非支配株主に係る包括利益	△2,663	△1,795

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価 証券 評価差額金	その他の包 括利益 累計額合計			
当期首残高	564,557	81,819	△87,280	559,095	1,496	1,496	1,641	5,983	568,217
当期変動額									
新株の発行	10,005	10,005		20,010					20,010
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△202,899	△202,899					△202,899
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					△945	△945		△2,663	△3,608
当期変動額合計	10,005	10,005	△202,899	△182,889	△945	△945	-	△2,663	△186,497
当期末残高	574,562	91,824	△290,179	376,206	551	551	1,641	3,320	381,719

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価 証券 評価差額金	その他の包 括利益 累計額合計			
当期首残高	574,562	91,824	△290,179	376,206	551	551	1,641	3,320	381,719
当期変動額									
新株の発行	33,002	33,002		66,004					66,004
親会社株主に帰属する 当期純利益			15,167	15,167					15,167
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					18	18	△569	△1,795	△2,346
当期変動額合計	33,002	33,002	15,167	81,171	18	18	△569	△1,795	78,825
当期末残高	607,564	124,826	△275,012	457,378	569	569	1,072	1,524	460,544

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△205,066	13,867
減価償却費	52,190	33,498
減損損失	48,006	951
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	115
受取利息及び受取配当金	△140	△142
支払利息	9,251	9,276
売上債権の増減額(△は増加)	6,709	△160,596
たな卸資産の増減額(△は増加)	24,638	△110,386
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,098	163,832
投資有価証券評価損益(△は益)	4,999	-
ゴルフ会員権評価損	-	899
その他	7,086	10,769
小計	△78,447	△37,915
利息及び配当金の受取額	140	142
利息の支払額	△9,563	△9,395
法人税等の支払額	△496	△496
営業活動によるキャッシュ・フロー	△88,366	△47,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,306	△1,307
有形固定資産の取得による支出	△27,176	△17,418
その他	△3,035	△2,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,518	△20,961
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	450,000	260,000
長期借入金の返済による支出	△321,293	△292,331
株式の発行による収入	19,994	-
セール・アンド・リースバックによる収入	39,083	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	65,435
リース債務の返済による支出	△19,298	△18,121
財務活動によるキャッシュ・フロー	168,486	14,982
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	48,600	△53,643
現金及び現金同等物の期首残高	912,392	960,993
現金及び現金同等物の期末残高	960,993	907,349

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「デジタルサイネージ関連事業」、「Value creating事業」の2つを報告セグメントとしております。

「デジタルサイネージ関連事業」は、デジタルサイネージの製造・販売・リース・メンテナンス、デジタルサイネージ向けのソリューション及びサービスを提供しております。

「Value creating事業」は、現在は大型LED表示機とSNSサイトを連動させた運営、大型LED表示機上及びSNSサイト上での広告に関する広告代理業をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計方針は、連結財務諸表と同一であります。セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2019年4月1日至2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び業績は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	753,456	61,746	—	815,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,680	—	△1,680	—
計	755,136	61,746	△1,680	815,203
セグメント損失(△)	△103,015	△18,876	—	△121,891
セグメント資産	329,702	6,158	1,017,808	1,353,669
その他の項目				
減価償却費	52,094	95	—	52,190
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	50,339	453	—	50,792

(注) 1 調整額は以下の通りであります。

(1) セグメント売上高の調整額△1,680千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額1,017,808千円は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
報告セグメントごとの売上高及び業績は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	1,124,754	85,935	—	1,210,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,000	—	△4,000	—
計	1,128,754	85,935	△4,000	1,210,689
セグメント利益 又は損失(△)	35,161	△12,670	—	22,491
セグメント資産	595,260	11,025	968,977	1,575,262
その他の項目				
減価償却費	33,241	256	—	33,498
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	37,294	114	—	37,408

(注) 1 調整額は以下の通りであります。

- (1) セグメント売上高の調整額△4,000千円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (2) セグメント資産の調整額968,977千円は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	デジタル サイネージ関連	Value creating	全社・消去	合計
減損損失	48,006	—	—	48,006

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	デジタル サイネージ関連	Value creating	全社・消去	合計
減損損失	—	—	951	951

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	15円24銭	18円11銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△8円21銭	0円61銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	0円60銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	381,719	460,544
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	4,961	2,596
(うち新株予約権(千円))	(1,641)	(1,072)
(うち非支配株主持分(千円))	(3,320)	(1,524)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	376,757	457,947
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	24,724,500	25,293,500

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△202,899	15,167
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失 (△)(千円)	△202,899	15,167
普通株式の期中平均株式数(株)	24,705,959	24,992,407
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	180,228
(うち新株予約権(株))	—	(180,228)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当 期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—